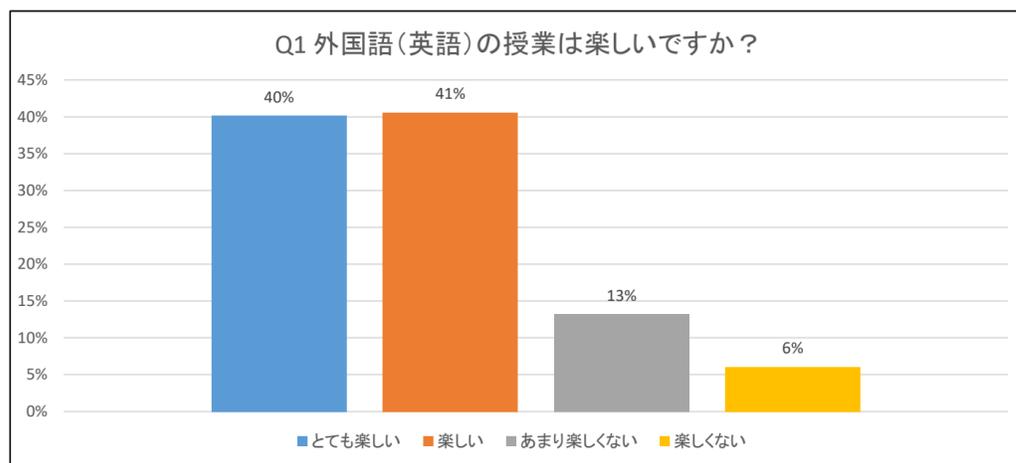
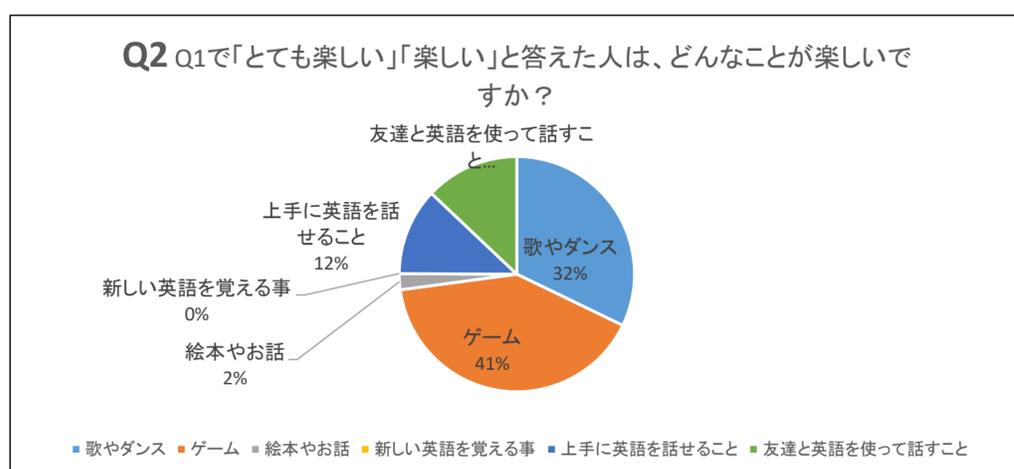


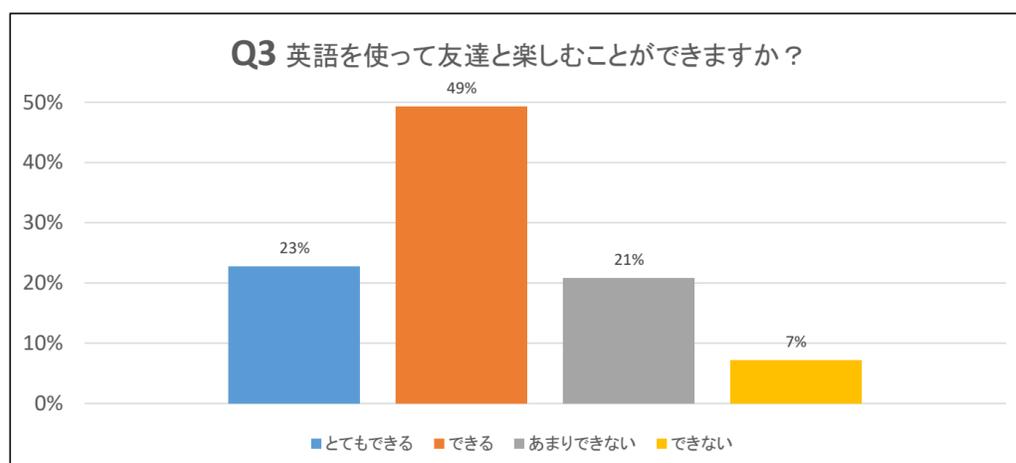
## 令和5年度外国語(英語)の授業に関する児童用アンケート調査結果の分析・考察(松橋小)



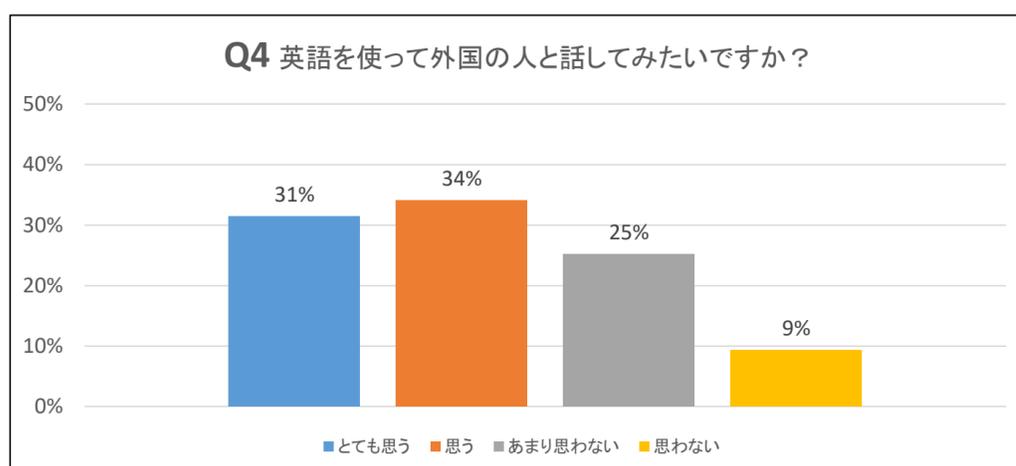
【Q1について】  
80%以上の児童が外国語(英語)の授業を楽しんでいるが、昨年度よりも約5%下がっている。その反面、楽しくないと回答した児童が19%と増えている。学習に対する意欲を高めるような活動を意図的に設定していく必要がある。



【Q2について】  
70%以上の児童が「歌やダンス」「ゲーム」の活動が楽しいと回答している。その反面、上手に英語を話せることを楽しいと感じている児童も12%おり、昨年度よりも2%上がっている。今後、外国語(英語)を実際に使う場を設定し、話すことの楽しさを感じ取らせていきたい。



【Q3について】  
英語を使うことが楽しいと感じている児童が70%以上おり、昨年度よりも上がっている。今年度も、英語を使う楽しさを実感できるような活動を行っていく。



【Q4について】  
英語を使って外国の人と話したいと思っている児童が65%おり、昨年度より約8%下がっている。実際に外国の人と英語で話す機会を設定し、楽しさを実感できるようにしていく。

【保護者・学校関係者からの意見・要望等】  
保護者  
宇城市が1年生から英語活動を行っていることに肯定的な意見が多かった。また、これから英語を話すことだけでなく、どのように外国の人とコミュニケーションを取るのかを学んでいく必要があるという意見もあった。  
学校関係者  
これから英語を活用して世界に羽ばたいてほしい。また、日本のよさにも気づいてほしい。

【考察・今後の展望等】  
児童が主体的に活動する授業づくりや、歌やゲームなどの活動にコミュニケーションを図るような場を設定していく。また、外国語専科やALTと連携を図りながら、学習した外国語(英語)を使えるような機会を学校教育活動の中に多く位置付けていく。